

PRESS RELEASE

2012年2月14日

報道関係各位

データ・ケーキベーカ株式会社

データ・ケーキベーカ社、
非連続の時代に対応するデータ分析サービスとして、
瓦礫だらけのビッグデータから意味ある情報を抽出する
“パフォーマンス・ガイド連環データ・ソリューション”を発売。

“データの情報化・知識化のためのソフト開発型ベンチャー”であるデータ・ケーキベーカ株式会社（多摩市 社長 唐澤英安）は、“データ・リテラシーへの貢献”をテーマに、「社会のあらゆるデータを可視化し情報化・知識化する」ことを目指し、アナリティック・ビジネス・インテリジェンスを開発しています。

想定や経験則が崩れる非連続時代に対応するため、瓦礫だらけのビッグ・データから、意味のある情報を抽出する“パフォーマンス・ガイド連環データ・ソリューション”を、この度2月20日より、スポット型のデータ分析受託サービスとしてリリースします。

昨今データベースが増殖し、ビッグデータが注目されています。しかし、そこは瓦礫や似たものが散乱したいわばゴミ箱状態で、従来の剃刀のような精密で繊細なデータ解析法では歯が立ちません。もっと荒っぽく頑健な鈍のような、あるいはしなやかで雑草をザックリ刈り取れる鎌のような道具が必要です。

ミミズは、枯葉のいちばん鋭く尖った箇所をくわえ自分の巣穴に引き込む知恵を持っていることが判っています。マツタケ採りの名人は、初めての山でもそのスポットが判り、岩魚釣りの名人も穴場の瀬を見分けます。そこには、興味と関心を持って継続的な体験を積み上げ、成功体験をしてきた状況のリアル・データに反応する感覚的な記憶とそれを活かす知恵があるのです。

あらゆる組織や機関には、得られた資源を有効に組織し、運営し、パフォーマンスを挙げ、利害関係者に還元する、イノベティブなマネジメントが求められています。そのようなKPI（キー・パフォーマンス・インジケータ）は、日々の活動の結果として得られますが、KPIは資源の種類やその順列・組合せ、使い方や条件等多様な説明すべき変数によって左右されます。

通常、KPI は、金額や満足度やランキングなど量的な目的変数として計測されますが、関係する説明変数は、量的変数もあれば質的変数もあります。まして、感覚的な状況把握には、言葉によるイメージ変数が重要な役割を持ちます。これまでこうした量的、質的さらには構造をもった言葉までを含む統合的な、“目的-説明データ分析モデル”を得る方法はありませんでした。

また、言葉を扱うのであれば、変数の数が膨大となり、モデルの同定に必要なパラメータ数が増加します。従来のデータ分析モデルでは、必要なパラメータ数を超える質の良いデータを必要とし、前提としてきました。

いわゆるビッグデータも、類似した実績データが多く、ピンポイントでの絞ったときに役に立つデータは、仕分けしてゆくとごく少なくなってしまいます。例えば KPI に関連する要因として、“性・年代”、“地域”、“時期”、“品種”、“支払い方法”等各 10 種 6 段階で仕分けすると、データ量は 100 万分の 1 となってしまいます。通常、要因の種類は数十以上に及び、さらに言葉による説明を入れると、解析は不可能に思えます。

データ分析に必要で使えるデータは、常に、絶対的に不足しています。

しかし、人間や現場では、過去の経験や勘、暗黙知等の“類推（アナロジー）”を活用して、いわばミミズのようにより良い解を得ています。

従来のデータ解析では、“中心的な特徴”や、“典型的なパターン”、“最頻度モード”等「代表的な特性」に注目し、多数のケースを説明することに力点がありました。しかし、KPI のブレイクスルーのヒントを探す現場のデータでは、むしろ、“周縁的な特徴”や、“有徴的なパターン”、“コロニー的なモード”等、「特異的な特性」に注目します。実際には、データが持つ連環性の構造を少数次元に落とし込むことで、可視化できる塊りを形成し、人間が勘を働かせ、より良い方向性や仮説を読み取ることを支援します。

そのため、“パフォーマンス・ガイド連環データ・ソリューション”は、多様なデータを、情報圧縮技術でマップ化して可視化する“連環データ分析”を利用しております。そこでは、代表的な特性を持った事象群と、特異な特性を持った事象群が、分離して類型化され可視化されます。KPI について、平均的な事象、トップの事象と下位の事象に関するあらゆるデータが布置され、改善やブレイクスルーのヒントをガイドします。

“パフォーマンス・ガイド連環データ・ソリューション”は、ビジネスパフォーマンスの向上を志向するサービス・ビジネス企画担当者、設計・生産・販売・流通などのマネジメントのための、「連環データ分析」を使ったスポット型受託サービスです。

データ・ケーキベーカ株式会社について

データ・ケーキベーカ株式会社は、“for Innovation Story”をキーワードに、2000 年設立されました。データ・ケーキベーカは、データから意味のある情報や役に立つ知識を得るための、“データ・リテラシーの向上に貢献する”ことを目指し、“世の中のあらゆるデータを可視化すること”に挑戦します。

データ・ケーキベーカ株式会社

東京都多摩市桜ヶ丘 1 丁目 53 番地の 46

TEL : 042-357-6871 FAX : 042-357-6871 <http://www.dcb.co.jp>

本件に関するお問い合わせ:唐澤/古山 dcb@dcba.co.jp

以上